

**専攻医
の主張**

私が夢中になっているもの

広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経内科 土ヶ内 紗矢

広島市立北部医療センター安佐市民病院で脳神経内科の専攻医をしております、土ヶ内紗矢と申します。この執筆のため私の毎日を振り返ってみて、必死になっているのが日々の診療業務、夢中になっているものがクラシック音楽です！

私は趣味でバイオリンのレッスンに通っており、1年に1回ソロでコンクールに挑戦すること、オーケストラの定期演奏会を軸に練習に励んでいます。クラシック音楽の面白いところは試行錯誤を経ながら連綿と紡がれてきた演奏・曲の解釈が伝承されていることです。一つ一つの作品が、作曲者の言語や民族性、宗教や戦争などの時代背景、絵画や建築も含めた流行、作曲者の人生のイベント・尊重する価値観などの絡み合いの中で生まれ、それが奏者に受け継がれ洗練されていきます。現在に至った弾き方・解釈をレッスンの時に目の前で弾いていただき、まずはそれをまねて、その後自分なりの解釈を付け加えて、自分の演奏が思い描いた表現となっているか確認しながら練習を積み重ねます。こうして今までたくさんの人が携わって伝承されてきた音楽を習得していきます。必要な技術や勉強はとっても膨大なのですが、できることが少しずつ増えていくことは楽しく、また10代の頃に弾いた曲でも今27歳では感性や技術が違うので弾き方も変わり、これから年を重ねるのが楽しみになるような趣味です。

脳神経内科の後期研修医として臨床に携わっ

てみてさまざまな命題に立たされ毎日必死に診療を行っています。私を突き動かしているのは、患者さんのADLに携わる責任と、そのためにも現在に至るまで諸先生方が培ってきた診療技術を習得しなければならないという責任です。人には居場所があり役割を果たすことで幸せを感じていると思います。脳神経領域の患者さんはある日機能を失い大切にしてきたことを行えなくなる患者さんが大勢いますが、人生を良いものにできるよう、疾患や治療と向き合うお手伝いができることを誇りに思っています。自分の診療が思い描いたシナリオ通りにいかない時、上級医・指導医の先生方にご意見を伺うと、問診や身体診察・鑑別疾患の列挙・治療法のどれをとっても私の見えている世界との違いを実感し、高みに到達しなければいけないと感じます。脳血管内治療も同様に、手技を習得するまでの過程はクラシック音楽における伝統の継承と似ていると感じます。

音楽の世界で「良い弟子は良い師匠を育てる」という言葉を聞いたことがあります。うまくいかない時、ふと立ち止まってこれで良いのか考えた時に、自身の経験を惜しみなく教えてくださる良い師匠に囲まれています。教わったことを教える過程で研修医から学ぶことも多いです。お互いを高め合えて一緒に働きたいと思ってもらえるような良い弟子、そしてやがて良い師匠となれるよう、今日も練習と診療に励みます!!

専門医共通講習の受講に 日医e-ラーニングを活用いただけます



専門医の更新申請に必要な共通講習受講単位数は、5年間で必修講習（医療倫理・医療安全・感染対策）を各1単位以上、全ての共通講習受講単位を合わせて3単位以上10単位以内です。日医e-ラーニングには、専門医共通講習単位を取得できる講座が10件（2021年9月現在）ありますので、ご活用ください。

ホームページアドレス

日医HP > メンバースルーム > 医学図書館・生涯教育 >
日医e-ラーニング